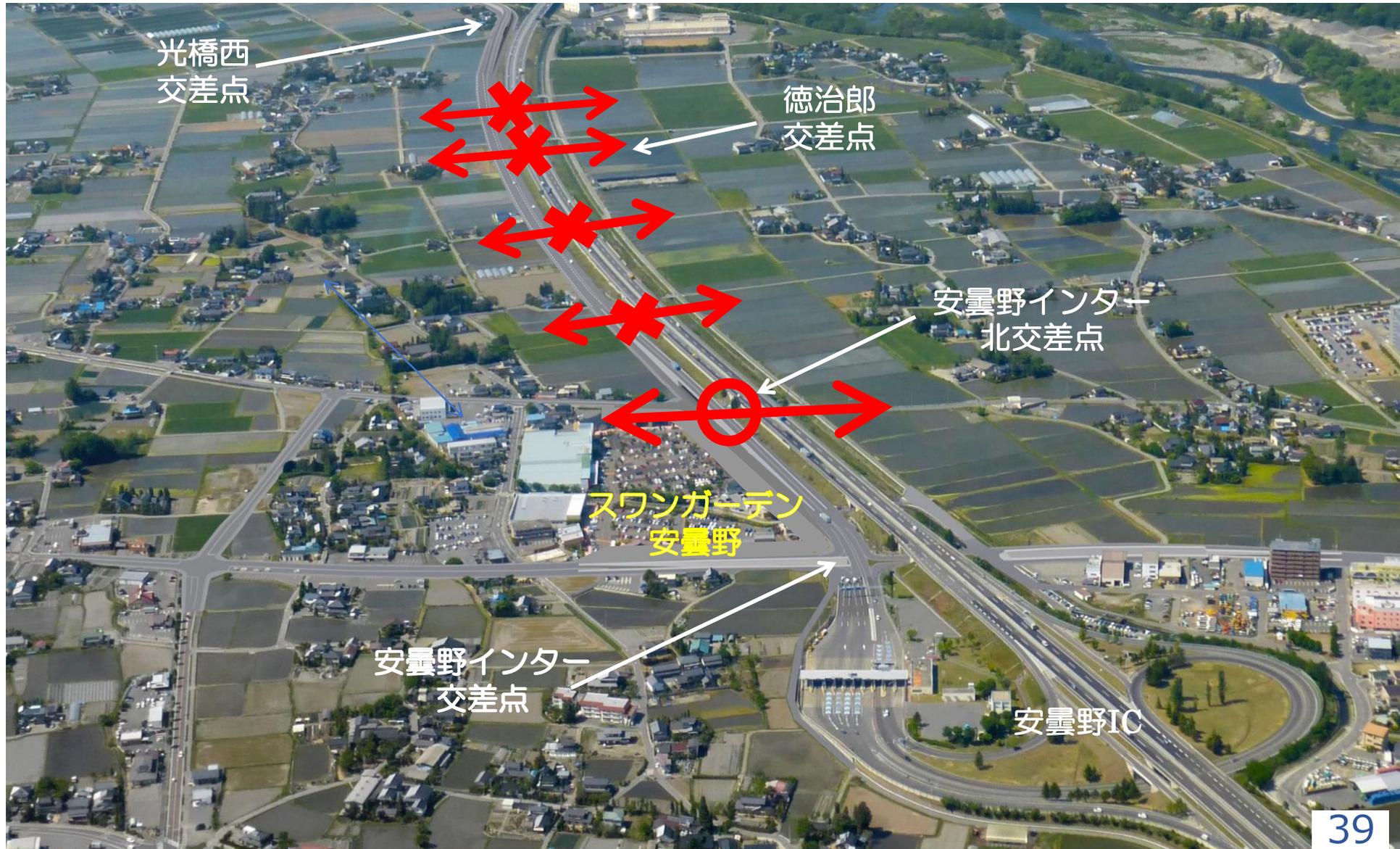
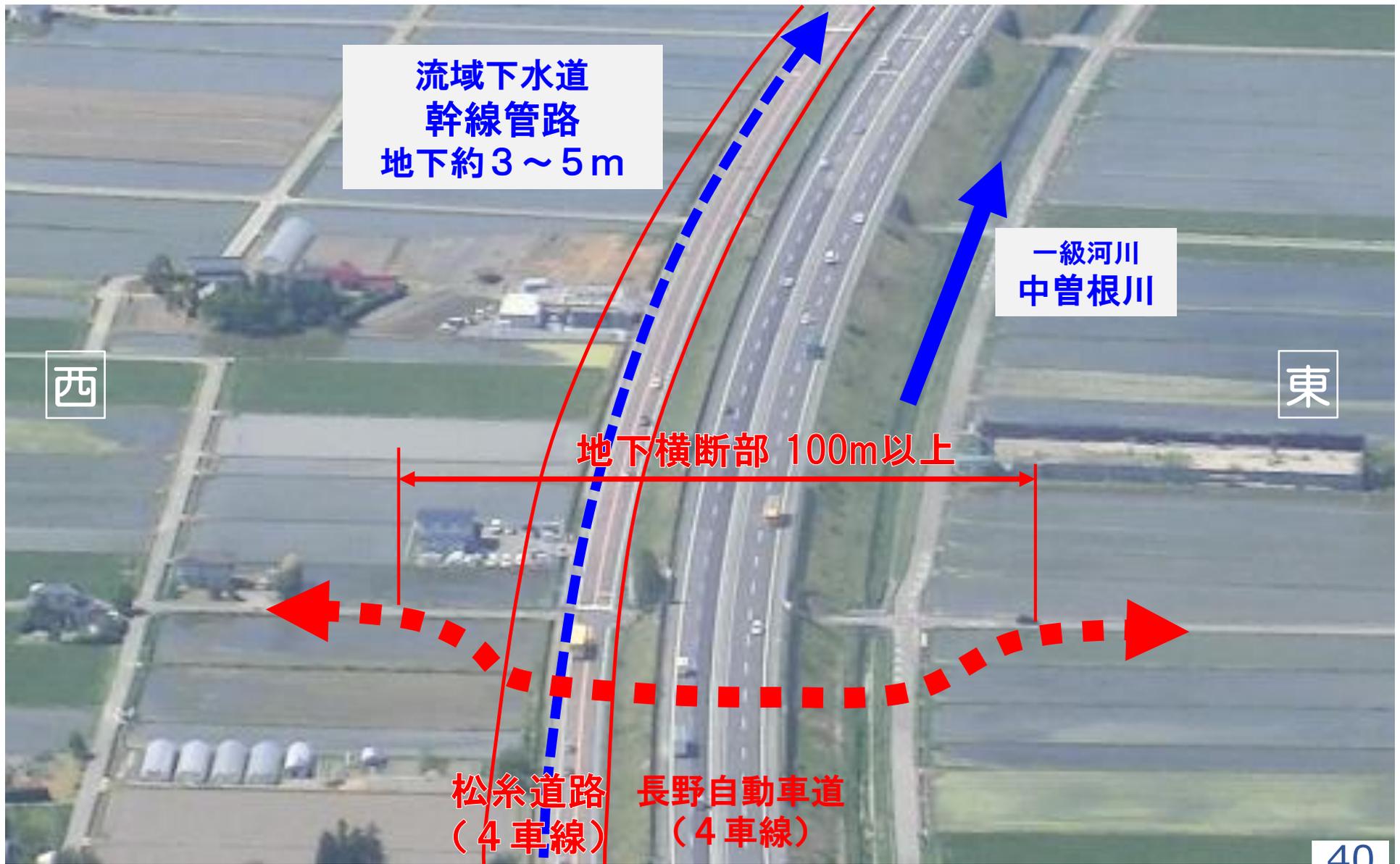




# IV生活 ⑥地域住民への影響（地域分断の影響）



# IV生活 ⑥地域住民への影響（地域分断の影響）



# IV生活 ⑥地域住民への影響（地域分断の影響）

- 安曇野IC起点、犀川左岸ルート帯は、安曇野IC交差点から光橋西交差点間で横断不能となる箇所が多く、地域の分断が大きい
- 安曇野IC起点、Cルート帯は狐島地区において地域の分断がある
- Bルート帯は宮中、町、下押野地区において分断がある
- Aルート帯は通過不能箇所が最も少なく、地域の分断が最も少ない



# IV生活 ⑥地域住民への影響（住宅地への影響）

- 安曇野IC起点、B、犀川左岸ルート帯は住宅地の買収面積が多い
- Aルート帯は住宅地の買収面積が最も少ない

買収面積	安曇野IC起点 ルート帯	(仮称)安曇野北IC起点とする案			犀川左岸 ルート帯
		Aルート帯	Bルート帯	Cルート帯	
住宅地	約1.0ha	約0.3ha	約0.9ha	約0.4ha	約2.2ha



## 【地域分断の影響】

- Aルート帯は、他のルート帯と比べ通過不能箇所が最も少なく、また、地域の分断が最も少ない

## 【住宅地への影響】

- Aルート帯は、住宅地の買収面積が最も少ない

## 【日照、振動、大気、騒音の影響】

- Aルート帯は、住宅地から離れているため、他のルート帯と比べ日照、振動、大気、騒音の影響は小さいと考える



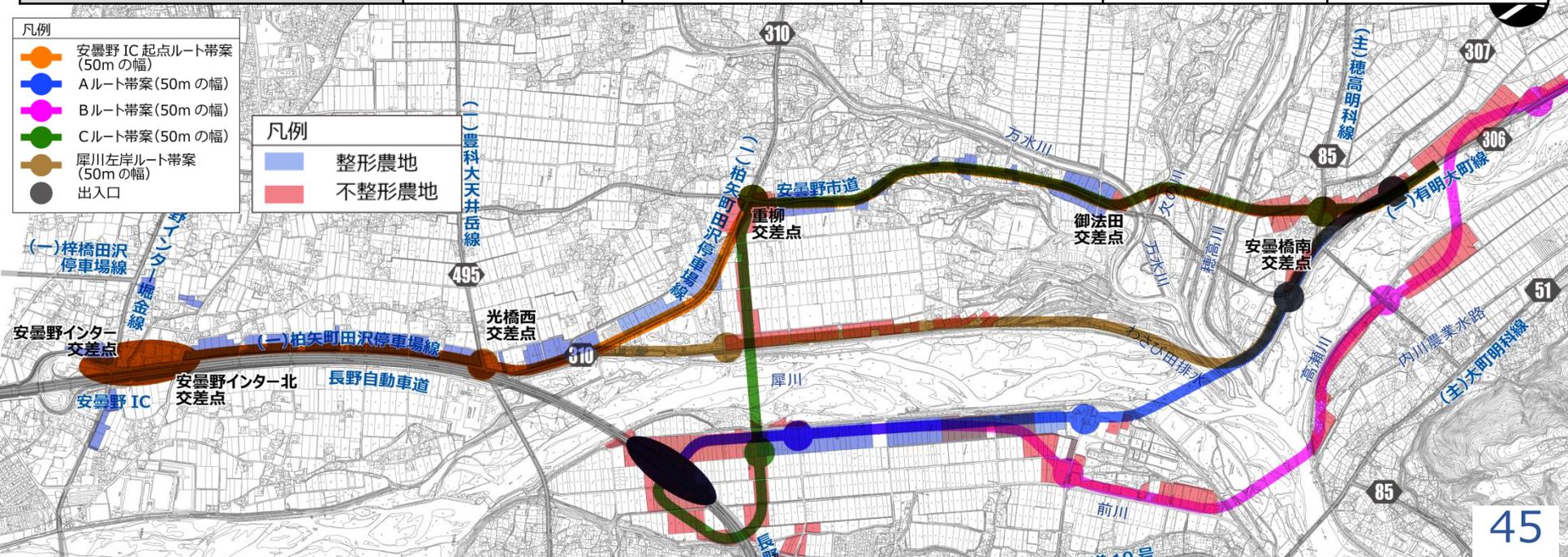
地域の分断、住宅地の買収面積が最も少なく、他のルート帯と比較し住宅地から離れている「Aルート帯」の優位性が高い



# IV生活 ⑦農業への影響（生産性への影響）

- B、Cルート帯は不整形となる農地の区画が多い
- 安曇野IC起点、犀川左岸、Aルート帯は不整形となる農地の区画が少ない

	安曇野IC起点 ルート帯	(仮称)安曇野北IC起点とする案			犀川左岸 ルート帯
		Aルート帯	Bルート帯	Cルート帯	
農地買収区画数	183	109	200	175	121
うち不整形農地区画数	50	54	168	136	49
割合	約27%	約50%	約84%	約78%	約40%



## 【農地への影響】

- Bルート帯は農地の買収面積が最も大きい。
- A、Cルート帯は農地の買収面積が小さく、Bルート帯の半分程度

## 【生産性への影響】

- Bルート帯は不整形となる農地の区画数が最も多い。
- Cルート帯は買収面積が少ないものの不整形となる区画数が多い
- 安曇野IC起点、A、犀川左岸ルート帯は不整形となる農地の区画数が少なく、Bルート帯の3分の1程度

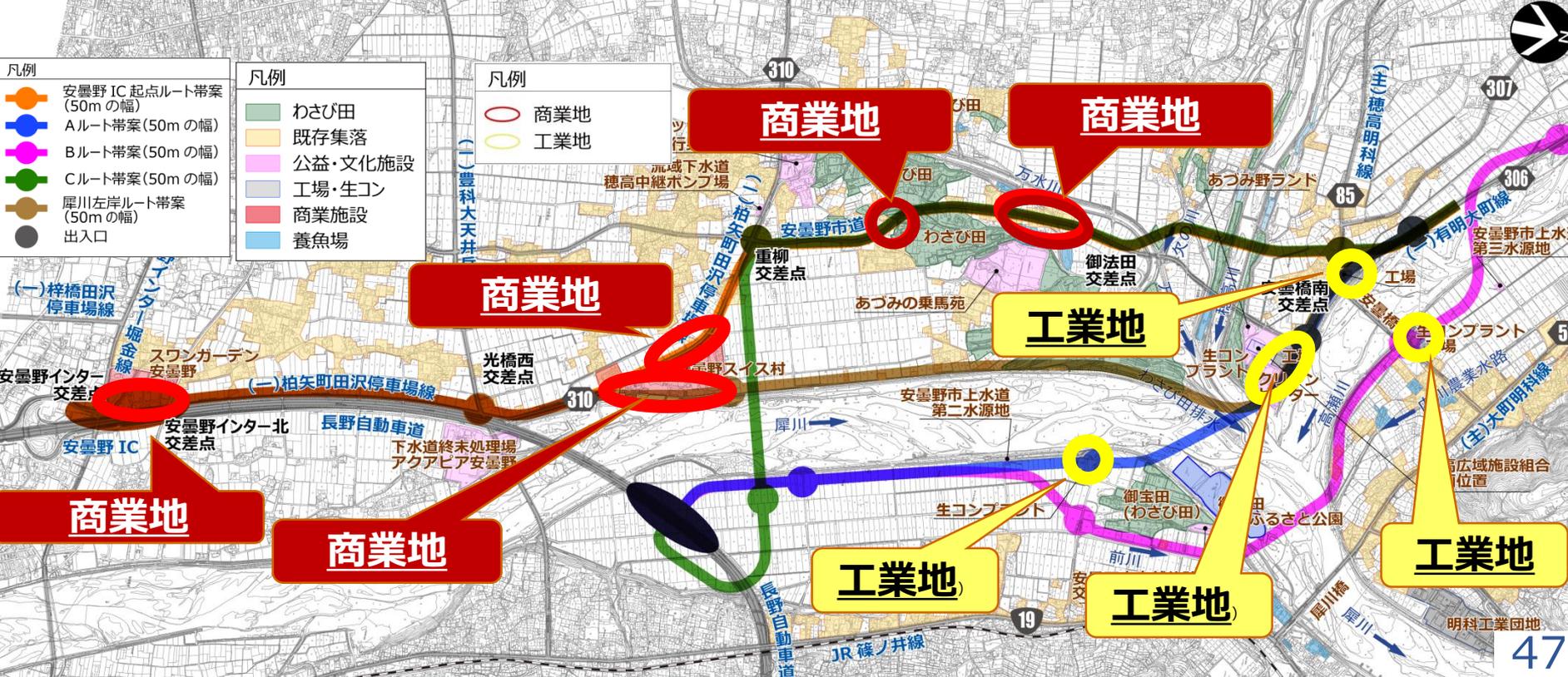


農地の買収面積が少なく、かつ、不整形となる農地の区画数も少ない「Aルート帯」の優位性が高い

# IV生活 ⑧商工業への影響（商業、工業地域への影響）

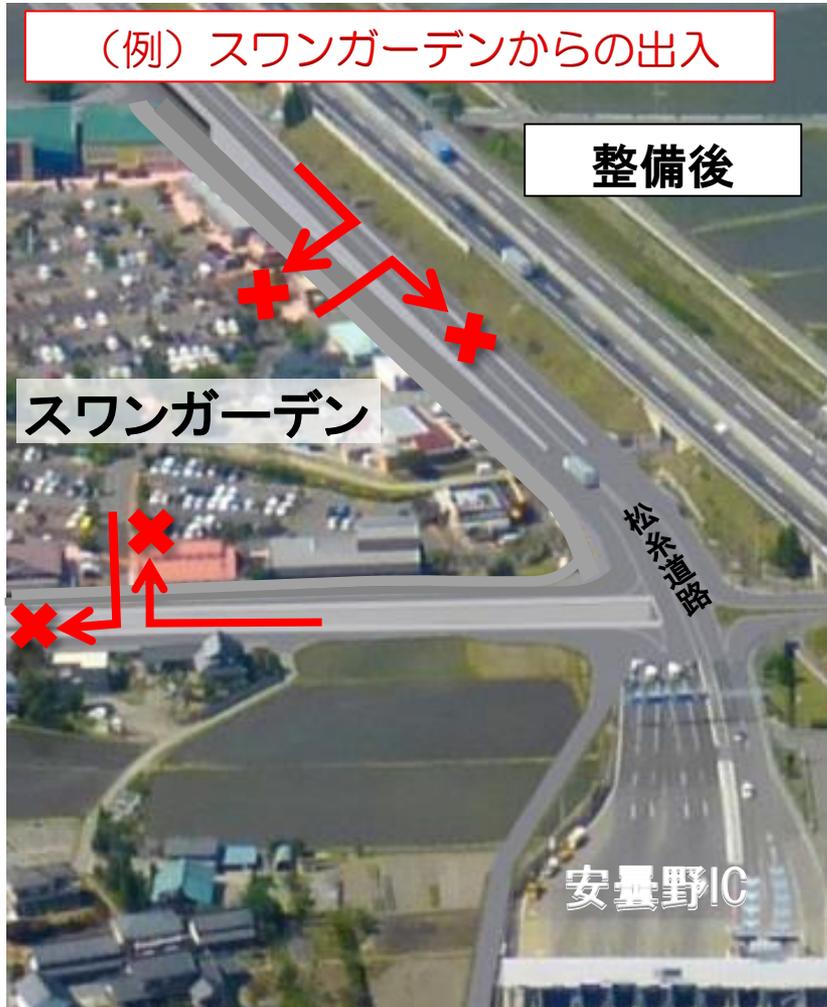
● B、Cルート帯は商工業地の買収面積が少ない

買収面積	安曇野IC起点ルート帯	(仮称)安曇野北IC起点とする案			犀川左岸ルート帯
		Aルート帯	Bルート帯	Cルート帯	
商業地	約0.7ha	なし	なし	約0.3ha	約0.5ha
工業地	なし	約0.9ha	約0.1ha	なし	約0.6ha
合計	約0.7ha	約0.9ha	約0.1ha	約0.3ha	約1.1ha



# IV生活 ⑧商工業への影響（商業、工業地域への影響）

- 現道を4車線とする安曇野IC起点、犀川左岸ルート帯は、沿線にある既存の商業施設（スワンガーデンやスイス村など）への出入りが制限される



道路横断方向のイメージ図

中央分離帯



## 【商業、工業地域への影響】

- 安曇野IC起点、犀川左岸ルート帯は、既存商業施設の買収面積が多い
- 現道を4車線化する区間は商業地からの出入りが制限される
- Aルート帯は工業地の買収面積が多い
- Bルート帯は、商工業地の買収面積が最も少ない
- A、Bルート帯は既存商業施設への出入りに影響しない



商工業地の買収面積が最も少なく、既存商業施設への出入りに影響しない「Bルート帯」の優位性が高い